

別記様式第13号 議事録

平成30年9月7日公表

平成30年度 第1回名古屋支社等入札監視委員会定例会議議事録

開催日及び場所	平成30年7月20日(金) 13:05~14:40 名古屋支社8F会議室	
出席委員 (敬称略。委員については、五十音順。)	委員長:柴田 達男(前公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会理事長) 委員:梅原 秀哲(名古屋工業大学 教授) 杉岡 治(弁護士) 中村 正典(弁護士) 八嶋 厚(岐阜大学 教授) 横田 直和(関西大学 教授)	
審議対象期間	平成29年12月1日~平成30年3月31日	
抽出案件	総件数	5件 (備考)
工事(一般競争入札)	1件	
工事(指名競争入札)	1件	
工事(特命契約)	1件	
調査等(指名競争入札)	1件	
物品(一般競争入札)	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<p>審議案件について、特に問題なし。ただし、次の点について検討すること。</p> <p>・建設市場における人手不足や資材高騰などから、入札不調の発生率はなお高止まりしている状況にあるため、積算単価の改定などの入札不調対策について更に取り組むこと。</p>	

別紙 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1. 入札及び契約手続の運用状況等の報告（委員会規則第二条第1号）名古屋支社	
意見・質問	回答
特になし	—

2. 入札監視委員会事務局の報告・審議（委員会規則第二条第3号）本社	
意見・質問	回答
① 入札不調の発生率が20%程度との説明があったが、これは異常と言えるのではないか。このような状況をどのように受け止め、何か対応策を講じているのか。	① 入札不調の発生率について、過去3年は20%程度で推移しています。 これは、建設現場における人手不足や資材高騰が原因であると考えています。 この対策として、発注見通しの早めの公表、こまめな単価の見直し、競争参加要件の緩和などを行っています。 当社としては、引き続き、入札不調の発生率の低減に向けて努力してまいります。

抽出事案の報告・審議	
(1) 工事（一般競争入札方式）	
工事名：新名神高速道路 新四日市 JCT～亀山西 JCT 間他道路情報板設備工事	
特になし	—
(2) 工事（指名競争入札方式）	
工事名：新名神高速道路 鈴鹿パーキングエリア休憩施設新築工事	
① 入札状況調書を見ると、辞退者が多いようであるが、これらの者からは事前に辞退の連絡はあるのか。	① 指名業者に対しては、指名通知の際、予め入札期日等を通知しており、当該期日までに連絡がなければ「辞退」とみなしています。
② 辞退者がこれだけ多数を占める原因は何か。	② 原因について一概には言えませんが、建築工事では、現在、民間が発注するものが多く、これらと競合していることが原因の一つと考えられます。結果として、人手不足や資材高騰が生じ、当社が設定する金額では合わなくなっているのではないかと思います。
③ このような傾向は、今後も続くことが予想されるが、どのような対応を考えているのか。	③ どうしても合わない部分については、見積を徴取して契約制限価格に反映させることも考えていかなければなりません。また、受注しやすい工事範囲(ロット)の検討も必要であると思います。
④ 「トイレ内満空表示装置・インターロッキング工事」の見直しをしたとあるが、これは別途発注するのか。	④ トイレ内満空表示装置にあつては他の設備工事で、インターロッキング工事にあつては商業施設の工事で行うこととしました。

<p>⑤ 今回のインターロッキング工事については、たまたま近くで工事があったからできることであって、単独で工事を行う場合はどう対応するのか。</p>	<p>⑤ そのような場合は、別途発注を行うこととなります。</p>
<p>(3) 工事 (特命契約方式)</p>	
<p>工事名：名神高速道路 妙興寺高架橋他 1 橋支承補修工事</p>	
<p>① 総括表を見ると、本件受注者は、本件工事以外にも不調特命で伸縮装置と支承補修工事を百数十%の落札率で受注している。また、平成 26 年度～28 年度における道路補修工事の受注状況報告でも伸縮装置改良工事などにおいて百数十%の落札率が続いている。 このような状況について、契約手続の透明性の観点からどのように考えているのか。</p> <p>② 今回のように契約制限価格を超えて契約するケースが常態化しているのは決して良いことではない。 これらを抜本的に解決する手法等についてどのように考えているか。</p> <p>③ 2020 年東京オリンピックやリニア事業がある中で、NEXCO が抱える工事は何時頃にピークを迎えるのか。</p> <p>④ 入札不調の背景には最近の職人不足の影響も大きいのか。</p> <p>⑤ 一般競争入札に参加した 2 者にアンケートを行い、支承取替工事では施工費に差異があるとのことから、見積を徴取し施工費を見直した上で指名競争入札に切り替えたが、応札者がなかった。結果的に不調特命見積協議方式に移行し、本件受注者と契約制限価格を超えて契約しており、施工費の見直しを行ったことは何ら効果を発揮していないと思われるが如何か。</p> <p>⑥ 平成 26 年度～28 年度における道路補修工事の受注状況を見ると、本件受注者は突出して落札回数が多く受注率は 63.16%となっているが、ここまで落札回数が多い理由は何か。</p>	<p>① ご指摘のあった工事については、これまでも応募者が少なく入札不調となっていることから、見積協議方式や不調特命見積協議方式を適用するなどの対応をしています。 また、契約制限価格を積み上げるにあたっては、これまでの状況を踏まえ、できるだけ現地状況を積算に反映させる等の対応を行っているところですが、結果として落札率が百数十%となっているものもあります。</p> <p>② 伸縮装置の改良工事では、応札者等にアンケートを行い、条件面で厳しいところがあればこれを改善するとか、発注規模を変えて実施する等の対応に取り組んでいるところです。</p> <p>③ 名古屋支社管内において、新規の建設工事はある程度一段落しています。当社が抱える一番の課題は、保全の耐震補強工事と床版取替工事であり、ここ 5 年くらいでかなりの数量を処理する必要があります。</p> <p>④ ご指摘のとおり、鉄筋や型枠などの職人の方々が廃業されるなど絶対数が減少していることがあると思います。</p> <p>⑤ 見積徴取による施工費の見直しは、結果的には効果がなかったかもしれませんが、我々の積算の考え方を検証するにあたって、徴取した見積を精査することには意味があったと思います。</p> <p>⑥ 道路補修工事を行う会社の中で本件受注者はかなり規模が大きく、NEXCO 以外の発注機関の同種工事においても受注実績は相当数に上ります。 また、伸縮装置の改良工事等は、業界的には人気がなく請け負う会社が少ない中で、本件受注者が率先して受注した結果と思われます。</p>

(4) 調査等 (指名競争入札方式)	
件名：平成 29 年度 新名神高速道路 新四日市 JCT～亀山西 JCT 間沿道状況写真撮影	
<p>① 道路の管理にあたっては、建設前、建設中、建設後における詳細な地形データ等（立体写真、3Dデータ）があれば非常に便利と思われるが、建設中も現場の写真撮影はしているのか。</p> <p>② 建設から保全に引き継ぐ際、写真など必要な資料はしっかりと保全に渡されているか。</p>	<p>① 建設中も現場の写真撮影はしていますが、立体写真等は撮影していません。</p> <p>② 写真、図面、工事関係書類などの必要な資料は、供用に伴いしっかりと保全に引き継いでいます。</p>
(5) 物品 (一般競争入札方式)	
件名：NEXCO 中日本グループコピー用紙購入単価契約	
<p>① これまでの落札業者の状況は、どのようになっているか。特定の会社に受注が偏っていないか。</p> <p>② これまで何社くらいの会社が入札に参加してきたのか。</p> <p>③ これまでの発注では、うまい具合に応札が重複しないようになっている感じもするが、如何か。</p> <p>④ 契約期間は、従来から2年としているのか。</p>	<p>① 過去の受注実績を見ると複数の会社が受注しており、特定の会社が継続的に受注するようなことにはなっていません。</p> <p>② これまでに4者が入札に参加しています。</p> <p>③ 今回の発注では、2者から応札がありました。その前の発注では、広く競争に付すべく過去の応札者にお知らせを行いました。結果的に当該2者以外には応札がありませんでした。</p> <p>④ 過去3回の発注では、契約期間を2年としています。これは契約期間を長期にとるスケールメリットと、物価変動リスクや競争阻害のデメリットを総合的に考慮し、2年間の期間を設定しています。</p>